

# 出張医学教育FD(飯田市立病院)

【日 時】 平成27年6月1日(月) 18:30~19:00

【場 所】 飯田市立病院

【参加人数】 61名

【内 容】

## ○信州大学の新しい臨床実習

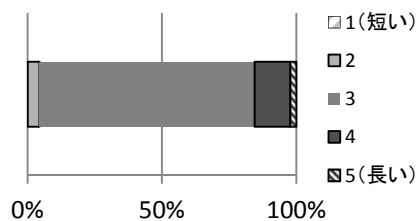
- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について
- ・臨床実習の指導医

## ○学生の評価について

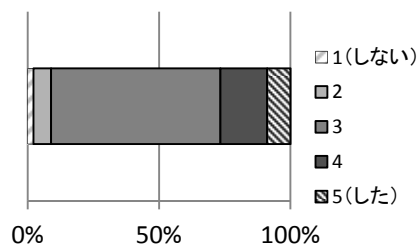
- ・ポートフォリオについて



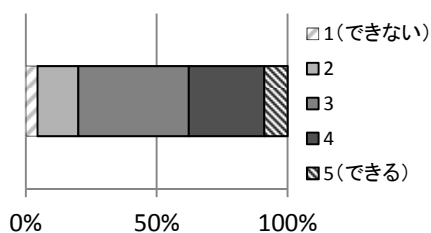
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



次ページに続く

## 参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
学生の到達目標、求められている内容がレベルアップしている。	当院で評価した後の再度の学生および指導者へのフィードバックの内容。	他大学出身なのでわからないが、これだけ実習期間が増えて紙カルテ等のdutyもあり、学生さんは国試に向けての自主学習時間は確保できるのか…。
従来の出欠席が教授のまとめで評価するシステムから移行しつつあることがわかりました。	指導医によって評価の方法がばらけてしまうことについて。学習目標がどれだけ到達できれば「秀」なのか、「可」なのか曖昧。	やりながら修正していく。
実習の評価方法について。(複数意見有)	具体的にどんな実習に来るのが、やはり見えてこない。	皆で協力してできると良いが。
教員(指導者)の評価も重要であること。	学生に施行させて良い医行為の詳細。	実際にやってみないとわからない部分があると思いますので、気づいたときにはいつでも相談に乗っていただきたい。
学生が行ってよい行為の範囲について。	上手くいくのか。	研修医だけでも大変ですが、できるでしょうか。
非公開の重要性。学生は紙カルテを書く。	到達度のチェック方法。	出席を全て把握できないかな。
ポートフォリオは大学で評価する。最終評価者は学生を選ぶ。	実際にどのように指導しましょうか。	学生が記載したカルテも(大学へ送って)大学での評価の一つにするのはいかがでしょう。
レポートと評価。	評価基準。	
学生指導の概要。	実習評価者の評価の客観性は？	
ポートフォリオ。評価法、中間にポートフォリオの提出をするなど(到達度以外)	ポートフォリオの実際。	
学生とどの程度の時間関わる必要があるか。	ショーケースポートフォリオに対して、私たちがどのようにかわるのか、あまりわかりませんでした。	
学生と実際どう接するかイメージができた。	わたしの能力不足で理解できませんでした	
学生が実習の中間点で中間レポートを出す。これをポートフォリオと呼ぶことにする。	ショーケースポートフォリオに実際に書く場合、具体的なところがもうひとつはっきりしなかった。	
中間レポートの内容、評価について。	新しい評価方では、学生にどんな良いアウトカムになるのでしょうか？どんな期待ができるのでしょうか？	
新しい臨床実習の内容について。		
すみません、よく理解できませんでした。		
実際の現場での評価を重視。		
ショーケースポートフォリオについて総合的な理解はできた。		
学生の実習への参加(カンファ・手技)のさせ方について。		
レポートが二段階になっていること。		